

6. e ラーニングでの履修方法

1) e ラーニングシステム (Moodle) へのアクセス方法

①熊本大学ポータルURL (<http://uportal.kumamoto-u.ac.jp/>) にアクセスし、熊本大学 ID を確認し、統合認証システムへログイン。学生番号と初期パスワードは、学生証の裏面にシールを貼付しています。(シールの上段が学生番号、下段が初期パスワードとなります。)

Kumamoto University
熊本大学統合認証システム

熊本大学IDとパスワードを入力してください。 [熊本大学ID確認](#) [パスワード変更](#)

Service Provider: cas.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学ID:

パスワード:

表示言語(Display language): 日本語 ▼

☐ ユーザ情報送信の同意を解除する

②「熊本大学 ID 確認ページ」で、学生番号とパスワードを入力して「submit」ボタンをクリックしてください。

熊本大学ID確認ページ

(*) 熊本大学IDは9文字です。
先頭2文字の英字と残り7文字の数字で構成されています。

教職員番号もしくは学生番号とパスワードを入力してください。

ユーザーID (例 135z4321):

現在のパスワード:

入力したらこのボタンを一度だけ押して下さい。これは、取消ボタンです。

E-mail: chpass-adm@cc.kumamoto-u.ac.jp

の熊本大学IDは 熊本大学ID です。

E-mail: chpass-adm@cc.kumamoto-u.ac.jp

学生番号・職員番号

熊本大学ID

③表示されるユーザーID 選択ウィンドウで、学生番号が正しいかを確認後、「ログイン」をクリックします。

Languages: [English](#) | [Japanese](#) | [Chinese](#)

Kumamoto University
統合認証システム

ユーザーIDを選択してください

ユーザーID:
● ☐ 135z4321

セキュリティ上の理由から、認証が必要なサービスのアクセス終了時には、ウェブブラウザをログアウトし、終了してください。

④ログイン後、「全学 LMS (e ラーニングシステム) Moodle」をクリックします。



⑤ Home には SOSEKI で登録された授業のコースが表示されます。該当する年度の medic をクリックすると Moodle 上の当該授業科目のトップページ（科目内の講義リスト）が表示されます。



例：medic2014 をクリック



- ⑥ 各講義ページに入り、講義ビデオと配布資料を利用して学習します。その後、理解度テストを受け、合格点に達するとその講義の受講が完了したことになります。受験後、理解不十分な箇所を確認し、再学習し、2回までeラーニング履修しテストを受けることができます。

生体分子情報学理論【Pathophysiology and Structural Biochemis(2014-68-20020)】

あなた

マイホーム ▶ 2014-68-20020

活動

管理

ナビゲーション

マイホーム

- ▶ サイトホーム
- ▶ サイトページ
- ▶ マイプロフィール
- ▼ 現在のコース
 - ▶ 2014-68-20020
 - ▶ 参加者
 - ▶ バッジ
 - ▶ 一般
 - ▶ 科目概要/ Subject outline
 - ▶ [eJ-0]第1回 心血管病のメカニズム...
 - ▶ [eE-0][eJ-0]第2回 心血管病...
 - ▶ [eEJ-0]第3回 心血管病のメカニズム...
 - ▶ [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質...
 - ▶ [eE-0][eJ-0]第5回 糖・脂質...
 - ▶ [eE-0][eJ-0]第6回 糖・脂質...

ニュースフォーラム

科目概要/ Subject outline

B1 Pathophysiology and structural biochemistry of biomolecules

生体分子情報学理論

Lecture Series "Riron": B1 Pathophysiology and structural biochemistry of biomolecules

科目主任教員：光山 勝慶 (kimmitsu@kumamoto-u.ac.jp)

分担教員：糟中 方一、山縣 和也、小椋 光、山中 邦俊、瀬戸山 千秋、野見山 尚之、入江 徹美

公開期間：2014.6.1-2014.12.31(コンテンツによっては別途期間が設定されています)

■ 授業の目標 ■

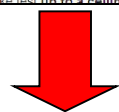
(1) 高血圧、心肥大、動脈硬化等の循環器疾患の機序及び薬物療法について理解することを目的とする。
 (2) 人体における基本的な糖・脂質代謝動態とその調節制御機構、糖尿病やメタボリックシンドローム、脂質代謝異常との関連などについて理解する。
 (3) ATPase、特にAAAファミリータンパク質の分子基盤、多彩な細胞機能及び各種疾患における役割について理解する。
 (4) タンパク質に与えられた固有の特異性は、そのタンパク質の特定の構造基盤の上に構築されている。本授業では、タンパク質の三次元構造の概略と構築原理に基づいて、その機能発現の作用原理を理解させることを目標とする。
 (5) 薬物情報分析学では、機能性糖質と生体脂質・タンパク質との相互作用およびその生命科学領域への応用について理解することを目的とする。

☆B1レポート課題☆

受講した講義より1分野を選択し、講義担当教員へレポートを提出すること。
 課題については、各分野の授業担当教員にお問い合わせ下さい。

《理解度テストについて / About the tests》

1. 理解度テストの受験回数はそれぞれ上限を2回までとします。
 You can take test up to a calling of twice.



生体分子情報学理論【Pathophysiology and Structural Biochemistry of Biomolecu】

あなた

マイホーム ▶ 2013-68-20020m ▶ [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質代謝の病態生理(1)

活動

管理

ナビゲーション

マイホーム

- ▶ サイトホーム
- ▶ サイトページ
- ▶ マイプロフィール
- ▼ 現在のコース
 - ▶ 2013-68-20020m
 - ▶ 参加者
 - ▶ バッジ
 - ▶ 一般
 - ▶ 科目概要/ Subject outline
 - ▶ [eJ-0]第1回 心血管病のメカニズム(1)
 - ▶ [eE-0][eJ-0]第2回 心血管病のメカニズム(2)
 - ▶ [eJ-0]第3回 心血管病のメカニズム(3)
 - ▼ [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質代謝の病態生理(1)
 - ▶ 糖・脂質代謝の病態生理(1)/Pathophysiology of glucose/lipid metabolism (1)

ニュースフォーラム

◀ [eJ-0]第3回 心血管病のメカニズム(3) [eE-0][eJ-0]第5回 糖・脂質代謝の病態生理(2) [eE-0][eJ-0]第4回 糖・脂質代謝の病態生理(1)

Title: Pathophysiology of glucose/lipid metabolism (1)
 担当教員：山縣 和也 (Kazuya YAMAGATA)
 日時: 6月25日(火) 14時～15時
 ※ 日本語版は2009年度、英語版は2010年度の講義ビデオをもとに作成しています。
 制限 (完全に非表示/パスワードなし): 2013年 06月 1日 から 2014年 06月 01日 23:59:59 まで利用できます。

糖・脂質代謝の病態生理(1)/Pathophysiology of glucose/lipid metabolism (1)

Lecture (shooting: 2010)

1. Introduction
 2. Insulin Action(1)
 3. Insulin Action(2)

講義 (2009年度)

1. はじめに
 2. 血糖値のコントロール
 3. 糖尿病について(1): 1型糖尿病

Test

第4回 理解度テスト 4th Test (Yamagata)
 制限: 2013年 12月 31日 23:55 まで利用できます。

講義資料

講義ビデオ (日英どちらでも可)

理解度テスト

※注意 セミナー科目については、履修方法が異なります。詳細は、「D1 医学・生命科学セミナー」および「D2 名医に学ぶセミナー」のeラーニングコンテンツ内に明記していますので、その手順に従ってください。

2) e ラーニングの分類に関する説明

e ラーニングによる講義については、eE-0, eE-L, eJ-0, eJ-L, eEJ-0 および eEJ-L の6種類が、ありますので注意してください。

なお、このマーク表記は、各科目の講義日程のページに記載しています。

e ラーニングコンテンツが完成次第、順次マーク表記を記載しますので、医学教育部HP

(<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/medgrad/keijiban/newpage1.htm>) で最新の講義日程を確認してください。

① e ラーニングコンテンツに利用されている言語による分類

eE：英語で作成された e ラーニングコンテンツ

eJ：日本語で作成された e ラーニングコンテンツ

eEJ：英語と日本語を混ぜて作成された e ラーニングコンテンツ

② e ラーニングコンテンツの講義への利用法による分類

-0：対面講義を実施することなく、e ラーニングでのみ開講する講義

-L：対面講義が主体で、講義を受講できない学生に対して、補講として e ラーニングの受講を認める講義

③ 日本語の e ラーニングコンテンツしか利用可能でない、eJ-0 および eJ-L の講義については、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、英語（＋日本語）による対面講義が実施されます。 この対面講義は収録されて、将来 eE あるいは eEJ として利用されることがあります。

④ e ラーニング分類の例示

eJ-L とは、対面講義を受講することを原則とするが、受講できない場合は、日本語で作成された e ラーニングコンテンツを補講として受講できる講義を意味します。なお、履修生に日本語を理解できない留学生がいる場合には、対面講義は英語（＋日本語）で実施されます。